

令和3年度 さいたま市立大宮別所小学校 学校運営協議会による評価書

さいたま市立大宮別所小学校
学 校 運 営 協 議 会
委員長 XXXXXXXXXX

学校運営協議会による評価（協議会の委員の意見等）

- ・学校は児童一人ひとりのために手立てを立てて取り組んでいる。
- ・タブレットの活用が急速に進んでいることがよく分かった。今後も子どもたちが有効に活用できるように指導を続けてほしい。
- ・キャリア教育については、過去から学ぶことを大切にしたり、子どもたちが表現をできる場を用意したりしてほしい。人生の先輩を様々な分野から紹介するために地域の人材を活用できるとよいのではないか。
- ・地域が学校に何かをしてもらいたいということではなく、地域から私たちがこういうことをしようと思えますと発せられるような共同体を構成してコミュニティスクールを充実させていきたい。
- ・地域の諸団体の目指すものを揃える役割として学校運営協議会が機能するとよい。学校運営協議会がガバメントとしての機能を有し、SSN各団体は実働者としての役割をもつようにしたい。そのうえで、取り組んだことには必ず評価をしていくことが大切である。
- ・地域、保護者、学校の3者で行った熟議はとても有意義な機会であった。
- ・学校、地域、保護者どの立場においても大人が手本となり、他者との関わりを大切にする力（思いやりや感謝の心）を子どもたちに育んでいくようにしたい。
- ・いじめ防止対策委員会として、いじめ解消の方法をしっかりと行い、再発が無いよう見守りをし、引き続いて発生した場合は継続とみなしていく。

学校運営協議会による評価を受けた学校の対応

- ・アクティブラーニング型の授業の推進をする。
- ・「個別最適な学び」の実現に向けた取組の推進をする。
- ・ICT機器を積極的に活用した学習の推進をする。
- ・体験的・実践的な活動を多く取り入れた学習活動の推進をする。
- ・他者との関わりを大切にする力を育む取組を充実させる。
- ・「心を潤す4つの言葉」の定着に向けた取組の充実をする。
- ・いじめ予防、早期発見に向けた取組の強化をする。
- ・子どもたちの主体的活動と関連させた道徳教育・人権教育等の推進をする。
- ・キャリア教育の推進をする。
- ・「総合的な学習の時間」「SDGs教育」「STEAMS教育」等の確実な実施をする。
- ・情報発信体制の強化をする。
- ・学校評価アンケートの充実を図る。
- ・コミュニティスクールの推進をする。
- ・「報告・連絡・相談・見届け」の徹底を行う。
- ・「複数の目で児童を育てる」体制の強化をする。

校長 和田 卓也